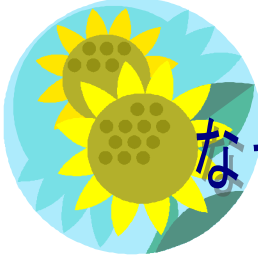


岸和田市丘陵地区の活動

08 「ガンバシ ひまわり やまたきっこ畑」



なぜ「ひまわり」なのか…

現在、地球規模での環境問題（地球温暖化など）への取り組みが行われています。なかでも、二酸化炭素（CO₂）の排出量を削減する事が必要とされ、原油など石化燃料に変わるものとして、植物系燃料への転換が盛んになっています。燃烧時に二酸化炭素を放出する事に変わりはないのですが（排出量が同じと言うわけではない。）この植物系燃料の原料となる植物が光合成により、空気中の二酸化炭素を吸収し、酸素を放出する事から、環境への負荷が軽減されると言われています。

そこで、この植物系燃料の一つとして注目を集めている「ひまわり」を、丘陵地区内の市有地で栽培し、その可能性を検証していきたいと考え、昨年に引き続き今年度も取り組んでいくこととなりました。



しかし、石油などの化石燃料を地中より掘り出して燃料としますが、ひまわりなどの植物は開花中酸素を排出します。



石油（化石燃料）

酸素

二酸化炭素



このように油が燃えるために酸素を吸収し二酸化炭素を排出し、これが地球環境温暖化に繋がると考えられています。